

地下水質における要監視項目の検出状況概要
(平成 16～20 年度調査)

1. 要監視項目の検出状況

(1) アンチモン

平成 18 年度調査において、初めて 1 本の井戸で指針値を超過したが、平成 19 年度調査以降は指針値の超過はない。

(2) 全マンガン

要監視項目の中で、指針値超過率が最も高い。平成 16 年度調査では指針値超過率は 30%であるが、その後は 10%未満で推移している。

(3) ウラン

平成 20 年度調査において、初めて 1 本の井戸で指針値の超過があった。

(4) その他物質

指針値の超過はない。